



にじのはし幼稚園 園だより



令和8年7月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田美弥

早いもので、1学期も最後の月となりました。梅雨の晴れ間にプールに入るのを楽しみにしているにじっこたちです。6月2日に行われた「にじっこまつり」では、5歳児のお店『いるかぐみうみらんど』の他、地域の方のお店と係の保護者の方のお店もあり、未就園児の会にじっこキッズの親子や、近隣の保育園の子どもたちも一緒に楽しい時間を過ごすことができました。いつもより早い時期の開催となりましたが、お忙しい中時間をつくっていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。いつも本当にありがとうございます。

13日に行われたお台場学園との幼小中合同大運動会では、30周年の記念の年にふさわしく、子どもたちのパワーが発揮されていました。5歳児いるか組は、入場行進からの開会式、準備体操と、お台場学園のお兄さんお姉さんと一緒に参加しました。事前に、お台場学園の先生が行進の仕方や体操を教えに来てくれて、運動会を楽しみにする気持ちが一層高まったようでした。当日は、しっかりとした足取りで入場してくる様子が見られました。準備体操に続く次の競技「大玉送り」には4歳児かもめ組も参加し、お兄さんお姉さんと一緒に大玉を転がす（触れる？）ことができたことも、いい体験となりました。自分たちの番が来ると、3歳児ことり組も一緒に広い校庭に出ていくことができました。普段から使わせてもらっている場所でも、周りの状況がいつもと違う環境で、衆人環視の中で動くということは、緊張感を伴うことだと思います。そういう場でも、5歳児いるか組が、かつて自分がしてもらったように3歳児ことり組と手をつないだり声を掛けたりしてエスコートすることで、自然に一緒に動く姿が見られました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。

運動会当日だけでなく、その後も、小学生の踊っていた曲を中休みにお台場学園のピロティで流して踊っていると、自然に小学生が集まってきて一緒に踊ってくれたり、動きを教えてくれたりしました。始まる前から終わった後の余韻までまるっと楽しい運動会になりました。（これらの様子は公式X (@nijinohashikg) で配信しています。是非ご覧ください。）

幼稚園では意図的計画的に保育参観や保育参加の機会を設けています。是非積極的に活用していただき、園での生活を知っていただけたらと思います。



にじのはし幼稚園は、幼児、保護者、地域との信頼関係を基盤に幼児の学びを支えます。

一人ひとりの存在を受けとめ 共に育む保護者

- ① 子どもの思いや成長に気付き、子育てに喜びを感じる保護者
- ② 生涯発達の鍵となるアタッチメント(子どもと養育者の間の情緒的なつながり)を築き、安心・安全の基地となって子どもを支える保護者
- ③ 学級や園の子どもたちの成長を、先生や保護者と共に喜び合える保護者
- ④ 幼稚園の教育活動に理解や協力をし、信頼関係を基盤として園や地域と共に子どもを育む保護者
(幼稚園経営計画 3 幼稚園経営の方針より)

保護者・地域の皆様には、1学期の間、親子活動や行事、PTA活動、係活動等々、本園の教育にご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。夏休み中も、本園の子どもたちをあらゆる場所で見守っていただけると幸いです。これからもこのお台場で育っていく子どもたちを園・家庭・地域で共に支えていきましょう。